

## 【中期目標期間（見込）評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価	自己評価	評価委員会の検証																																				
				論点	検証(案)																																			
01	<p><b>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</b></p> <p>より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、コメディカル等医療従事者の必要数確保及び定着を図る。</p> <p>特に医師の勤務条件を緩和するため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成</li> <li>定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用</li> <li>インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</li> <li>県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師を活用</li> <li>医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者を充実するほか、看護師が医療業務に専念</li> </ul>	<p>医師については、医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用）を行うことにより、麻酔医（常勤）、耳鼻咽喉科医（常勤）及び日当直応援医3名を採用するなど、医師確保を図った。加えて、医師事務作業補助者を充実させ、医師の業務負担の軽減を図った。また、常勤医不在の診療科（小児科、泌尿器科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図っている。</p> <p>看護部においては、退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」の取り組みや、看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に全ての病棟において新たな看護方式「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）」を導入するなど、看護師の負担軽減を図っている。また、法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。</p> <p>なお、看護師の再就職支援者研修について、平成28年度は2回計画し参加者1名、平成29・30年度はそれぞれ2回計画したが参加者はなかったため、県看護協会・県ナースセンターが主催する看護職員等就業促進研修事業への参加、院内ポスターの掲示、下呂市が発行する機関誌への掲載などにより、引き続き再就職を支援する。(●)</p> <p>より質の高い医療の提供に必要なコメディカルの確保に取り組んでいるが、薬剤師の確保について、HPへの掲載、実習生の受入れ、就職ガイダンスへの参加、随時募集の実施や大学へのPRなど様々な取り組みを行っているが、薬剤師の欠員（1人）が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組んでいく。(●)</p> <p>○ 医師、看護師、コメディカルの職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度初</th> <th>27年度初</th> <th>28年度初</th> <th>29年度初</th> <th>30年度初</th> <th>増減 (26→30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>25人</td> <td>21人</td> <td>21人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(2人)</td> <td>(2人)</td> <td>(2人)</td> <td>(3人)</td> <td>(3人)</td> <td>(+1人)</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>207人</td> <td>208人</td> <td>210人</td> <td>213人</td> <td>214人</td> <td>+7人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(20人)</td> <td>(21人)</td> <td>(20人)</td> <td>(19人)</td> <td>(20人)</td> <td>(±0人)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度初	27年度初	28年度初	29年度初	30年度初	増減 (26→30)	医師	25人	21人	21人	23人	26人	+1人	(うち非常勤)	(2人)	(2人)	(2人)	(3人)	(3人)	(+1人)	看護師・助産師	207人	208人	210人	213人	214人	+7人	(うち非常勤)	(20人)	(21人)	(20人)	(19人)	(20人)	(±0人)	III		<p>医師募集エージェントへの登録を行うなど、医師確保に向けた努力が伺える。今後は、県の医師確保計画を視野に入れた取組も期待したい。</p> <p>看護師の再就職支援及び薬剤師の確保のため引き続き努力されたい。</p>
項目	26年度初	27年度初	28年度初	29年度初	30年度初	増減 (26→30)																																		
医師	25人	21人	21人	23人	26人	+1人																																		
(うち非常勤)	(2人)	(2人)	(2人)	(3人)	(3人)	(+1人)																																		
看護師・助産師	207人	208人	210人	213人	214人	+7人																																		
(うち非常勤)	(20人)	(21人)	(20人)	(19人)	(20人)	(±0人)																																		

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																	
								自己 評価	論 点	検 証 (案)															
	<p>できるように病棟事務補助者の設置に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再就職支援者研修を開催するなど看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な看護体制維持に必要な看護師数の確保</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>コメディカル</td> <td>59人</td> <td>64人</td> <td>67人</td> <td>67人</td> <td>72人</td> <td>+13人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(5人)</td> <td>(5人)</td> <td>(5人)</td> <td>(6人)</td> <td>(8人)</td> <td>(+3人)</td> </tr> </table>	コメディカル	59人	64人	67人	67人	72人	+13人	(うち非常勤)	(5人)	(5人)	(5人)	(6人)	(8人)	(+3人)									
コメディカル	59人	64人	67人	67人	72人	+13人																			
(うち非常勤)	(5人)	(5人)	(5人)	(6人)	(8人)	(+3人)																			
03	<p><b>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</b></p> <p>病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児科及び産婦人科の維持、また、患者の平均年齢が高齢化していることから、非常勤医師対応の診療科(泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科等)の充実を図る。</li> <li>生理検査(聴力検査・超音波検査)等検査業務を拡充する。</li> <li>上肢機能を再建する手外科のリハビリテーション、異常な筋収縮に伴う症状を軽減するボトックス治療後のリハビリテーション、がん患者の緩和リハビリテーションの充実を図る。</li> </ul>	<p>患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実については、次のような取り組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応</li> <li>救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを利用し、円滑な診療体制の維持</li> <li>疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、午後5時以降の夜間透析の取り組み</li> <li>手外科専門医の指導の下、インキュベーターやスプリント作成などを駆使して、手の外科患者の早期機能回復への取り組み</li> <li>発達障がい児に対して感覚統合療法、言語聴覚療法を実施するなど、専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの提供</li> </ul> <p>○ 患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33名</td> <td>42名</td> <td>48名</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25名</td> <td>10名</td> <td>54名</td> <td>67名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	夜間透析	2名	2名	2名	4名	小児リハビリ	33名	42名	48名	43名	手外科リハビリ	25名	10名	54名	67名	III		<p>外国人観光客に対する対応については努力が伺える。さらに医療通訳などの充実を期待したい。</p>
項目	27年度	28年度	29年度	30年度																					
夜間透析	2名	2名	2名	4名																					
小児リハビリ	33名	42名	48名	43名																					
手外科リハビリ	25名	10名	54名	67名																					
04	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</b></p> <p>近隣の医療機関と連携強化することで、紹介・逆紹介を促進する。下呂市立金山病院については次のとおり役割分担を明確化する。</p> <p>ア 岐阜県立下呂温泉病院 急性期医療(脳疾患、心疾患)、回復期医療、産科医療、二次救急医療、病棟機能(急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期病棟)</p>	<p>近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所(かかりつけ医)と当院の役割分担に努め、紹介率・逆紹介率が向上した。</p> <p>また、下呂市医療機関担当課長会議や、研修の受入れなど、下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携を図っている。</p> <p>地域の医療機関による高度医療機器の使用や開放型病床の共同利用に努めるなど病診・病病連携を推進するほか、下呂市医師会の会員として、当院で理事会を開催するなど協力体制を図っている。</p> <p>飛騨地域の基幹病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリニカルパスの整備・普及等に取り組んだものの、地理的な問題もあり、整備・普及が進まなかった。今後も、地域連携クリニカルパスの普及に向けがん診療拠点病院と意見交換を行うなど整備普及を促進する。(●)</p> <p>下呂市及び中津川市の保健師と協力し、生活改善等の療養指導希望者に対する「CKD手帳」を使用した予防教育を平成28年度から開始するなど、CKD予防に取り組む連携パスの普及促進に努めている。</p>	III		<p>紹介率・逆紹介率が向上している点は評価できる。</p> <p>地域連携クリニカルパスの普及に向けては、がん診療拠点病院との意見交換を行うなど、引き続き努力されたい。</p>																				

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証																																																																				
		自己 評価	論 点	検 証(案)																																																																							
	<p>イ 下呂市立金山病院 急性期医療、慢性期医療、一次救急医療、病棟機能(急性期病棟・療養病棟)</p> <p>また、脳血管障害後遺症等での長期入院患者については、下呂市立金山病院が受け皿の役目を果たすなどの連携を確保することで、地域で完結できる医療体制づくりに努めるほか、下呂市健康医療部との医療関係課長会議に参加し、意見交換を行う。</p> <p>さらに、地域の医療機関による高度医療機器の使用や開放型病床の共同利用に努めるなど病診・病病連携を推進するほか、下呂市医師会の会員として、当院で理事会を開催するなど引き続き協力体制を図る。</p> <p><b>2 地域連携クリティカルパスの整備普及</b></p> <p>飛騨地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリティカルパスの整備・普及等に取り組む。</p> <p>慢性腎臓病(CKD:Chronic Kidney Disease)予防に取り組む下呂市が作成した連携パスについて、二次医療機関として普及促進に努める。</p>	<p>○ 紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減(26-30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>36.2%</td> <td>34.4%</td> <td>37.8%</td> <td>41.3%</td> <td>41.7%</td> <td>+5.5P</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,404件</td> <td>2,336件</td> <td>2,513件</td> <td>2,437件</td> <td>2,676件</td> <td>+272件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>36.1%</td> <td>37.9%</td> <td>43.6%</td> <td>50.3%</td> <td>51.3%</td> <td>+15.2P</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>3,726件</td> <td>3,881件</td> <td>4,164件</td> <td>4,550件</td> <td>4,354件</td> <td>+628件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 歯科を除く。</p> <p>○ 地域連携クリティカルパス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携クリティカルパス</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ CKD(慢性腎臓病)予防に取り組む連携パスの普及促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続支援を行ったeGFR30以下の患者数</td> <td>106</td> <td>138</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>うちCKD手帳の利用者数</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>うち腎臓内科受診者数</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>うち透析導入患者数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援内容: 検査記録の記載、生活状況の確認と改善のアドバイス、透析への準備教育</p>	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)	紹介率	36.2%	34.4%	37.8%	41.3%	41.7%	+5.5P	紹介実施件数	2,404件	2,336件	2,513件	2,437件	2,676件	+272件	逆紹介率	36.1%	37.9%	43.6%	50.3%	51.3%	+15.2P	逆紹介実施件数	3,726件	3,881件	4,164件	4,550件	4,354件	+628件	連携パス名	27年度	28年度	29年度	30年度	東濃地域脳卒中地域連携パス	1件	0件	0件	0件	飛騨地域がん地域連携クリティカルパス	0件	0件	0件	0件	区分	28年度	29年度	30年度	継続支援を行ったeGFR30以下の患者数	106	138	94	うちCKD手帳の利用者数	18	21	21	うち腎臓内科受診者数	7	6	7	うち透析導入患者数	4	4	5			
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)																																																																					
紹介率	36.2%	34.4%	37.8%	41.3%	41.7%	+5.5P																																																																					
紹介実施件数	2,404件	2,336件	2,513件	2,437件	2,676件	+272件																																																																					
逆紹介率	36.1%	37.9%	43.6%	50.3%	51.3%	+15.2P																																																																					
逆紹介実施件数	3,726件	3,881件	4,164件	4,550件	4,354件	+628件																																																																					
連携パス名	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																							
東濃地域脳卒中地域連携パス	1件	0件	0件	0件																																																																							
飛騨地域がん地域連携クリティカルパス	0件	0件	0件	0件																																																																							
区分	28年度	29年度	30年度																																																																								
継続支援を行ったeGFR30以下の患者数	106	138	94																																																																								
うちCKD手帳の利用者数	18	21	21																																																																								
うち腎臓内科受診者数	7	6	7																																																																								
うち透析導入患者数	4	4	5																																																																								
05	<p>二次医療を行う飛騨南部地域の唯一の中核病院として、不採算・特殊部門となりやすい救急・小児・周産期医療等の提供に努める。</p> <p><b>2 専門的なリハビリテーション治療の実施</b></p>	<p>飛騨南部地域の基幹病院として、生活の場の医療(※)の提供に取り組むとともに、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。</p> <p>平成30年度から新たに、下呂市が実施する産婦支援事業(産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業)に協力した。また、下呂市から乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期の支援体制づくりに寄与した。</p> <p>リハビリテーション治療の実施については、平成26年度以降、回復期リハビリテーション病棟入院患者に加え、地域包括病棟入院患者に対して、必要な場合には休日を含めて週7日間リハビリテーションが提供できる体制を整備し</p>	IV		<p>リハビリテーション実施人数の増加は評価できる。</p> <p>下呂市の健診に貢献している点は評価できる。</p> <p>在宅後方支援病院としての役割を担</p>																																																																						

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		自己 評価	論 点	検 証(案)																																																																	
	<p>これまで当院が担ってきた県下の地域リハビリテーションの基幹的な病院として、地域リハビリテーションの普及及び人材養成に加えて、医療及び介護における役割分担を踏まえ、患者の疾病及び症状に応じた、きめ細やかなリハビリテーションを実施するとともに、急性期医療から在宅までを見据えた地域連携による地域密着型の一貫したリハビリテーション提供体制を確立する。特に、次の事項に重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の患者にあったリハビリテーションプログラムの作成及び実施</li> <li>・急性期医療においては、廃用症候群を予防し、合併症に注意しつつ十分なリスク管理の下、早期離床を目的に、座位・立位、歩行、摂食・嚥下訓練などの積極的なリハビリテーション治療の実施</li> <li>・身体機能の中で、より複雑な動きが求められる手のリハビリテーションの充実</li> <li>・リウマチ患者に対する生活指導、相談等を行う教育入院の実施</li> <li>・高齢化の増加に伴い認知症患者の増加が見込まれる中、早期診断方法及びリハビリテーションを組み合わせた認知症の予防・治療体制の確立</li> <li>・福祉住環境コーディネーター2級以上のライセンスを持った理学</li> </ul>	<p>た。</p> <p>また、質の高いリハビリテーション医療を集中的に365日提供出来るよう取り組み、回復期病棟の実績指数は常に40以上を維持できている。</p> <p>住居環境などを早期に情報収集し、安心して自宅退院できるよう、住宅改修等の提案や退院前訪問指導等を積極的に行っている。</p> <p>また、ケア会議などを通して、介護事業施設等への情報提供を積極的に行っている。</p> <p>身体機能の中で、より複雑な動きが求められる手のリハビリテーションに対し、手外科専門医の指導の下、適正なスプリントを制作するなど質の高いリハビリテーションが提供できている。</p> <p>また、専門的知識を持った理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による障がい児療育支援を専門的かつ継続的に行っている。</p> <p>加えて、下呂市の地域療育システム支援事業(4回の専門相談、6回のスタッフ支援)への協力、下呂特別支援学校(年4回)への講師派遣、飛騨圏域保育士研修会の開催(下呂市、飛騨市、高山市)、小児リハビリ 保護者の集い「なかまして」の開催(10名前後の保護者が参加、年2回開催)など、疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションを実施している。</p> <p>各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実、早期離床の推進及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たっている。</p> <p>○ リハビリテーションの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減(26-30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>25,392人</td> <td>30,141人</td> <td>33,144人</td> <td>34,486人</td> <td>33,459人</td> <td>+8,067人</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>72,249単位</td> <td>87,403単位</td> <td>88,854単位</td> <td>91,706単位</td> <td>92,330単位</td> <td>+20,081単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33名</td> <td>42名</td> <td>48名</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25名</td> <td>10名</td> <td>54名</td> <td>67名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 認定資格等の取得状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定資格等</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減(26-30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>+2名</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>+1名</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>11名</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>16名</td> <td>16名</td> <td>+5名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)	実人数	25,392人	30,141人	33,144人	34,486人	33,459人	+8,067人	疾患別リハ実施数	72,249単位	87,403単位	88,854単位	91,706単位	92,330単位	+20,081単位	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	小児リハビリ	33名	42名	48名	43名	手外科リハビリ	25名	10名	54名	67名	認定資格等	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)	呼吸認定療法士	3名	3名	5名	5名	5名	+2名	早期離床アドバイザー	0名	0名	1名	1名	1名	+1名	福祉住環境コーディネーター	11名	14名	15名	16名	16名	+5名			<p>い、訪問看護ステーションにの24時間365日支援を期待したい。</p>
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)																																																															
実人数	25,392人	30,141人	33,144人	34,486人	33,459人	+8,067人																																																															
疾患別リハ実施数	72,249単位	87,403単位	88,854単位	91,706単位	92,330単位	+20,081単位																																																															
項目	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																	
小児リハビリ	33名	42名	48名	43名																																																																	
手外科リハビリ	25名	10名	54名	67名																																																																	
認定資格等	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26-30)																																																															
呼吸認定療法士	3名	3名	5名	5名	5名	+2名																																																															
早期離床アドバイザー	0名	0名	1名	1名	1名	+1名																																																															
福祉住環境コーディネーター	11名	14名	15名	16名	16名	+5名																																																															

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価		評価委員会の検証		
		自己 評価	論 点	検 証(案)		
	<p>療法士・作業療法士による退院後の生活を見据えた質の高い住宅環境整備の指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的知識を持った理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による障がい児療育支援の実施</li> <li>・地域の介護・福祉機関との連携の強化</li> </ul> <p><b>4 予防医療の推進</b></p> <p>「生活の場の医療」の中で予防医学の基本となる健診・検診、特に下呂市(旧下呂町)が公民館等で行っている集団健診も含め積極的に受託できるように努め、市・医療機関と連携し予防医療を推進する。</p>		<p>「生活の場の医療」の中で予防医学の基本となる健診・検診、特に下呂市(旧下呂町)が公民館等で行っている集団健診も含め積極的に受託できるように努め、市・医療機関と連携し予防医療を推進した。</p> <p>(旧下呂町(6地区)の住民健診(平成26年度～)、下呂市乳がん、前立腺がん検診(平成28年度～))</p> <p>平成28年度にアミノインデックスがんリスクスクリーニング検査(※)を新設したほか、胸部・腹部CT検査などの件数については順調に伸びており、また、脳MRI検査や全身MRI・CT検査などについても着実に実績を重ねることで、がん等の早期発見に貢献することができた。</p> <p>※ 特定の臓器(胃・肺・大腸・膵臓・前立腺・乳・子宮・卵巣)のがんが今現在、あるリスク(可能性)を評価する検査</p> <p>認知症高齢者の増加に伴い、平成29年度に「もの忘れドック(※)」を新設するなど、地域の実情にあった予防医療を推進している。</p> <p>※ 治療を必要とする認知症やその前段階、または別の病気なのかを、問診や脳のMRI、脳の血流をみる検査などを行い総合的に判断して、症状の軽いうちに治療に専念することができるコース</p> <p>以上のような取り組みのほか、人間ドックの基本コースである1日ドックや生活習慣病予防健診も順調に伸びている。加えて、選択肢を増やして、より受診していただきやすい環境を整備するための取り組みとして「日曜健診」を定期的実施し、特定保健指導については、平成28年1月から協会けんぽの特定保健指導に組み込み、健康維持・増進・疾病予防への働きかけを行っている。</p> <p>特定保健指導の実績及び実施率については、順調に伸びている。</p> <p>認知症高齢者の増加に伴い、下呂地域における「早期認知症予防システムの構築」を目指し、下呂市(地域包括支援センター)、下呂市医師会、下呂歯科医師会及び薬剤師会と連携し、下呂地域認知機能低下予防研究会を立ち上げた。ここでは、「認知症早期発見のための下呂式簡易知能検査」や「予防リハビリ」について検討を進めるとともに、地</p>			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証																																																																																																																																												
		自己 評価	論 点	検 証(案)																																																																																																																																															
		<p>域シニアクラブの協力を得て、実際に試行することにより、その手法と有効性について検証を推進している。</p> <p>○ 総合健診センター部 受診者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,103</td> <td>1,053</td> <td>1,029</td> <td>1,069</td> <td>1,111</td> </tr> <tr> <td>1日+MR I</td> <td>66</td> <td>88</td> <td>67</td> <td>63</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>1,384</td> <td>1,450</td> <td>1,556</td> <td>1,699</td> <td>1,744</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,107</td> <td>1,161</td> <td>1,598</td> <td>1,626</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>654</td> <td>668</td> <td>711</td> <td>625</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>定期健診(下呂病院、下呂看護)</td> <td>470</td> <td>449</td> <td>681</td> <td>670</td> <td>798</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>80</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>51</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>その他(企業健診他)</td> <td>180</td> <td>536</td> <td>447</td> <td>501</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,053</td> <td>5,473</td> <td>6,156</td> <td>6,307</td> <td>6,910</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 健康診断収益の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減 (26-30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診断収益 千円(税抜)</td> <td>83,518</td> <td>89,558</td> <td>93,011</td> <td>97,370</td> <td>100,142</td> <td>+16,624</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 脳MRI、胸部CT、腹部CT等 がん検査受診者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減 (26-30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MR I</td> <td>105</td> <td>125</td> <td>106</td> <td>105</td> <td>83</td> <td>△22</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>83</td> <td>134</td> <td>117</td> <td>115</td> <td>100</td> <td>+17</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>64</td> <td>119</td> <td>104</td> <td>93</td> <td>78</td> <td>+14</td> </tr> <tr> <td>全身MR I・CT</td> <td>44</td> <td>66</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>△21</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>前立腺MR I</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>+5</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>+19</td> </tr> </tbody> </table>						26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1日ドック	1,103	1,053	1,029	1,069	1,111	1日+MR I	66	88	67	63	46	脳ドック	9	3	4	3	1	生活習慣病予防健診	1,384	1,450	1,556	1,699	1,744	下呂市がん検診	1,107	1,161	1,598	1,626	1,950	下呂市特定・すこやか健診	654	668	711	625	623	定期健診(下呂病院、下呂看護)	470	449	681	670	798	下呂市肝炎ウイルス検査	80	65	63	51	55	その他(企業健診他)	180	536	447	501	582	合計	5,053	5,473	6,156	6,307	6,910		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)	健康診断収益 千円(税抜)	83,518	89,558	93,011	97,370	100,142	+16,624	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)	脳MR I	105	125	106	105	83	△22	胸部CT	83	134	117	115	100	+17	腹部CT	64	119	104	93	78	+14	全身MR I・CT	44	66	40	38	23	△21	大腸CT	4	2	2	5	0	△4	前立腺MR I	—	—	—	5	5	+5	もの忘れドック	—	—	—	22	19	+19					
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																														
1日ドック	1,103	1,053	1,029	1,069	1,111																																																																																																																																														
1日+MR I	66	88	67	63	46																																																																																																																																														
脳ドック	9	3	4	3	1																																																																																																																																														
生活習慣病予防健診	1,384	1,450	1,556	1,699	1,744																																																																																																																																														
下呂市がん検診	1,107	1,161	1,598	1,626	1,950																																																																																																																																														
下呂市特定・すこやか健診	654	668	711	625	623																																																																																																																																														
定期健診(下呂病院、下呂看護)	470	449	681	670	798																																																																																																																																														
下呂市肝炎ウイルス検査	80	65	63	51	55																																																																																																																																														
その他(企業健診他)	180	536	447	501	582																																																																																																																																														
合計	5,053	5,473	6,156	6,307	6,910																																																																																																																																														
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)																																																																																																																																													
健康診断収益 千円(税抜)	83,518	89,558	93,011	97,370	100,142	+16,624																																																																																																																																													
項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)																																																																																																																																													
脳MR I	105	125	106	105	83	△22																																																																																																																																													
胸部CT	83	134	117	115	100	+17																																																																																																																																													
腹部CT	64	119	104	93	78	+14																																																																																																																																													
全身MR I・CT	44	66	40	38	23	△21																																																																																																																																													
大腸CT	4	2	2	5	0	△4																																																																																																																																													
前立腺MR I	—	—	—	5	5	+5																																																																																																																																													
もの忘れドック	—	—	—	22	19	+19																																																																																																																																													

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証				
							自己 評価	論 点	検 証 (案)		
		スクリーニング検査(※)	—	—	6	13	13	+13			
		計	300	446	375	396	321	+21			
		※アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査									
		○ 日曜健診の実施人数									
		27年度	28年度	29年度	30年度						
		72名	87名	83名	83名						
		○ 特定保健指導実績									
		区 分	27年度	28年度	29年度	30年度					
		実 数	53件	106件	156件	157件					
		延べ数	103件	176件	277件	346件					
		※延べ数：「初回面接」と「実績評価」の両方をカウント									
		○ 特定保健指導実施率 (単位：%)									
		区 分	27年度	28年度	29年度	30年度					
		県職員	75.0	75.0	92.0	94.4					
		県警察職員	60.0	75.0	66.7	80.0					
		教職員	56.3	61.2	68.1	69.4					
		協会けんぽ	17.9	29.6	45.8	45.2					
		市町村職員	—	—	70.0	73.3					
		○ 認知機能低下予防リハビリ研修 (集団指導)									
		実績	27年度	28年度	29年度	30年度					
		実施回数	2回	26回	12回	5回					
		実参加者数	23名	157名	168名	88名					
		参加クラブ数	1団体	10団体	3団体	1団体					
		○ 予防リハビリ指導 (院内個別指導)									
		実績	27年度	28年度	29年度	30年度					
		症例数	4例	5例(2)	1例	2例					
		延べ実施数	23回	14回	3回	2回					
		※H28 5症例中、うち2例はH27と同一症例									
5	在宅療養支援体制の構築及び 推進 急性期病棟の機能強化と併せて 地域包括ケア病棟機能の充実によ						病床機能の役割分担として、地域包括ケア病棟3棟104床(平成28年3月、平成30年10月増床)を運用し、当院				

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																							
		自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																							
	<p>り、在宅復帰に向けた関係機関との連携を推進する。</p> <p>認定看護師などの専門性の高い能力を活用し、在宅で療養している患者、家族が安心して療養生活ができるよう相談窓口として、「在宅療養支援センター」を設置するとともに訪問看護ステーションや施設とも連携した訪問指導の充実を図る。</p>	<p>では3つの病棟機能（急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期病棟）により、在宅療養支援体制を構築している。</p> <p>地域包括ケア病棟の効率的な病棟運営を行うため、地域包括ケア病棟判定会議を開催し、地域包括ケア病棟への転棟時期を決定すると同時に早期在宅復帰支援を推進している。</p> <p>継続看護連絡会議で、既存の退院支援プログラムの見直し、外来通院中からの継続的な支援方法等について検討を行っている。</p> <p>介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導として、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師による褥瘡相談（指導）体制を確立し、併せて関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行っている。</p> <p>外来部門では、26年度に作成した「在宅療養ハンドブック」を基に、患者情報を共有し、継続看護が必要な患者に対して生活指導を行うなど有効に活用することができた。</p> <p>平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を開始している。</p> <p>周産期医療の推進として、地域おける妊娠、出産、子育て支援に対して、下呂市と協力して産前産後における支援の充実・強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下呂市と連携し、産婦支援事業（産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業）の導入</li> <li>・産後2週間、4週間健診の実施</li> <li>・ハイリスク母子に対する保健師・地域担当者による連携支援</li> </ul> <p>○ 地域包括ケア病棟の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">東 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>10,718人</td> <td>10,758人</td> <td>10,941人</td> <td>10,473人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>77.1%</td> <td>77.6%</td> <td>78.9%</td> <td>75.5%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>93.3%</td> <td>95.2%</td> <td>90.3%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>36.3日</td> <td>37.4日</td> <td>33.5日</td> <td>38.6日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">西 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>1,007人</td> <td>10,786人</td> <td>11,041人</td> <td>10,062人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>85.5%</td> <td>77.8%</td> <td>79.6%</td> <td>72.6%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>88.9%</td> <td>87.8%</td> <td>93.2%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均在院日数</td> <td>16.8日</td> <td>34.6日</td> <td>32.2日</td> <td>33.5日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東 3</td> <td>延べ患者数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3,269人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>97.7%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>16.4日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※西4棟（27年度実績）は、運用開始のH28.3月のみの実績、東3病棟は、運用開始のH30.10月からの実績 ※在宅復帰率は6ヶ月平均の3月末値</p> <p>○ 地域包括ケア判定会議、継続看護連絡会議の実績</p>	病棟名・区分		27年度	28年度	29年度	30年度	東 4	延べ患者数	10,718人	10,758人	10,941人	10,473人	病床利用率	77.1%	77.6%	78.9%	75.5%	在宅復帰率	93.3%	95.2%	90.3%	93.0%	平均在院日数	36.3日	37.4日	33.5日	38.6日	西 4	延べ患者数	1,007人	10,786人	11,041人	10,062人	病床利用率	85.5%	77.8%	79.6%	72.6%	在宅復帰率	88.9%	87.8%	93.2%	83.1%		平均在院日数	16.8日	34.6日	32.2日	33.5日	東 3	延べ患者数	—	—	—	3,269人	病床利用率	—	—	—	64.2%	在宅復帰率	—	—	—	97.7%	平均在院日数	—	—	—	16.4日			
病棟名・区分		27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
東 4	延べ患者数	10,718人	10,758人	10,941人	10,473人																																																																						
	病床利用率	77.1%	77.6%	78.9%	75.5%																																																																						
	在宅復帰率	93.3%	95.2%	90.3%	93.0%																																																																						
	平均在院日数	36.3日	37.4日	33.5日	38.6日																																																																						
西 4	延べ患者数	1,007人	10,786人	11,041人	10,062人																																																																						
	病床利用率	85.5%	77.8%	79.6%	72.6%																																																																						
	在宅復帰率	88.9%	87.8%	93.2%	83.1%																																																																						
	平均在院日数	16.8日	34.6日	32.2日	33.5日																																																																						
東 3	延べ患者数	—	—	—	3,269人																																																																						
	病床利用率	—	—	—	64.2%																																																																						
	在宅復帰率	—	—	—	97.7%																																																																						
	平均在院日数	—	—	—	16.4日																																																																						



項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						自己 評価	評価委員会の検証																																							
		会議名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		増減 (26-30)	論 点	検 証(案)																																					
		<table border="1"> <tr> <td>会議名</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>増減 (26-30)</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア判定会議</td> <td>41回</td> <td>78回</td> <td>112回</td> <td>117回</td> <td>120回</td> <td>+79回</td> </tr> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>68回</td> <td>75回</td> <td>81回</td> <td>144回</td> <td>105回</td> <td>+37回</td> </tr> </table> <p>○ 褥瘡ケア指導</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>介護者及び関係施設職員褥瘡ケア指導</td> <td>18回</td> <td>9回</td> <td>13回</td> <td>8回</td> </tr> </table> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導料(専門性の高い訪問看護実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問看護・指導内容</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>3回</td> <td>6回</td> <td>1回</td> </tr> </table>	会議名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)	地域包括ケア判定会議	41回	78回	112回	117回	120回	+79回	継続看護連絡会議	68回	75回	81回	144回	105回	+37回		27年度	28年度	29年度	30年度	介護者及び関係施設職員褥瘡ケア指導	18回	9回	13回	8回	訪問看護・指導内容	28年度	29年度	30年度	緩和ケア(退院後指導)	1回	1回	4回	褥瘡ケア	3回	6回	1回			
会議名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26-30)																																										
地域包括ケア判定会議	41回	78回	112回	117回	120回	+79回																																										
継続看護連絡会議	68回	75回	81回	144回	105回	+37回																																										
	27年度	28年度	29年度	30年度																																												
介護者及び関係施設職員褥瘡ケア指導	18回	9回	13回	8回																																												
訪問看護・指導内容	28年度	29年度	30年度																																													
緩和ケア(退院後指導)	1回	1回	4回																																													
褥瘡ケア	3回	6回	1回																																													
10	<b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> 飛騨及び中濃地域のへき地診療所や医師不足地域の医療機関への診療支援を行う。	中濃医療圏のへき地診療所や医師不足地域の医療機関への診療支援などの人的支援を行った。	Ⅲ	オンライン診療等によるへき地医療への支援体制の構築を期待したい。																																												
14	<b>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</b> 診療継続計画を作成し、大規模災害等緊急事態においても病院としての機能を十分発揮できるように緊急時における参集手段の確保、非常用自家発電等の燃料及び医療物資(医薬品、診療材料、給食材料等)の備蓄等、災害時医療体制の充実強化に努めるほか、訓練等による検証を行う。	診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備については、平成29年度に中部ブロックDMAT訓練への参加(協力)と併せて、当院独自訓練としてBCP計画の策定に向けて各種検証を実施し、発災時から災害患者等の受け入れまでを中心としたBCP計画を策定、運用を進めた。 平成30年度は、業務継続計画(BCP)策定部会の開催(4回)、各種セミナーへの参加、部分訓練等を通じてBCPのブラッシュアップを図った。	Ⅲ	被災時に、要介護者や医療依存度の高い在宅療養者の受入を期待したい。																																												
17	<b>1 弾力的運用の実施</b>	看護部では、状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の情報共有を図り、弾力的な運用を実施している。 具体的には、看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週30時間・週35時間勤務の非常勤職員も休日を含めた早出・遅出勤務の実施や、看護必要度の高い病棟に1日8時間勤務できる非常勤看護師を配置するなど、効率的な7:1看護体制の維持に取り組んだ。	Ⅲ	薬剤師の確保に向け、引き続き努力されたい。																																												

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証																																				
							自己 評価	論 点 検 証(案)																																			
		<p>病棟薬剤業務実施加算については、薬剤師の欠員充当が実施できず、病棟毎に担当者を貼り付けできない状況が続いており、加算の取得には至っていない。今後も欠員を充当し、加算を取得することを目指す。(●)</p> <p>医師事務作業補助者(医療クランク)を計画的に配置し、医師の事務負担の軽減を図った。</p> <p>加えて、平成27年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化し、効率的な業務遂行を図っている。</p> <p>○ 看護部内の全部署からの支援時間数 (単位:時間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減(26→30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,982.5</td> <td>3,889.5</td> <td>3,711.0</td> <td>2,532.1</td> <td>2,252.2</td> <td>△1,730.3</td> </tr> </tbody> </table>					26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26→30)	3,982.5	3,889.5	3,711.0	2,532.1	2,252.2	△1,730.3																									
26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減(26→30)																																						
3,982.5	3,889.5	3,711.0	2,532.1	2,252.2	△1,730.3																																						
22	<p><b>多様な契約手法の導入</b></p> <p>民間病院の取組を参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札及び契約方法の導入について検討を行う。</p> <p>また、既に締結した保守契約については、常に見直しを行い、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。</p> <p>薬剤・診療材料の購入にあたっては、より安価に購入するよう努める。</p>	<p>維持管理業務(※)については、複数年契約の締結や契約事務の集約化・簡素化・効率化により経費を節減した。</p> <p>※ 警備業務、機械、監視室等保全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務</p> <p>病院及び宿舎に係る電気需給契約については、一般競争入札を実施し経費の節減を図った。</p> <p>平成30年度分の電気需給契約については、節電等により常時供給契約電力を引き下げることができ、大幅な経費削減を図ることが出来た。</p> <p>医療機器のメンテナンス費用(保守委託)については、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換える等により経費削減を図っている。</p> <p>医事委託業務については、現場単位で業務設計の整理、業務の見直しにより経費の削減を図った。</p> <p>○ 電気料金、保守点検費用 (単位:千円(税込))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約額</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>増減(26→30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>102,247</td> <td>89,803</td> <td>81,425</td> <td>78,376</td> <td>71,602</td> <td>△30,645</td> </tr> <tr> <td>放射線機器保守</td> <td>47,434</td> <td>66,871</td> <td>66,871</td> <td>51,202</td> <td>50,706</td> <td>+3,272</td> </tr> <tr> <td>検査装置保守</td> <td>6,536</td> <td>10,045</td> <td>12,164</td> <td>4,115</td> <td>3,013</td> <td>△3,523</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156,217</td> <td>166,719</td> <td>160,460</td> <td>133,693</td> <td>125,321</td> <td>△30,896</td> </tr> </tbody> </table>					契約額	H26	H27	H28	H29	H30	増減(26→30)	電気料金	102,247	89,803	81,425	78,376	71,602	△30,645	放射線機器保守	47,434	66,871	66,871	51,202	50,706	+3,272	検査装置保守	6,536	10,045	12,164	4,115	3,013	△3,523	計	156,217	166,719	160,460	133,693	125,321	△30,896	IV	大幅な経費削減に独立行政法人化のメリットを活かしている点は評価できる。
契約額	H26	H27	H28	H29	H30	増減(26→30)																																					
電気料金	102,247	89,803	81,425	78,376	71,602	△30,645																																					
放射線機器保守	47,434	66,871	66,871	51,202	50,706	+3,272																																					
検査装置保守	6,536	10,045	12,164	4,115	3,013	△3,523																																					
計	156,217	166,719	160,460	133,693	125,321	△30,896																																					
25	<p><b>予算</b></p> <p><b>経常収支比率</b></p> <p><b>職員給与費対医業収益比率</b></p> <p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支</p>	<p>「中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上、医業収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下」という目標については、平成30年度(4年目)時点で達成していないが、年々改善してきている。(●)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成目標 (中期目標・中期値)</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減 (26→30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100%以上</td> <td>81.6%</td> <td>86.6%</td> <td>87.4%</td> <td>89.6%</td> <td>90.7%</td> <td>+9.1P</td> </tr> </tbody> </table>					指標	達成目標 (中期目標・中期値)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26→30)	経常収支比率	100%以上	81.6%	86.6%	87.4%	89.6%	90.7%	+9.1P	II	経常収支比率、医業収支比率及び職員給与費対医業収益比率の確実な改善に向け、引き続き努力されたい。																			
指標	達成目標 (中期目標・中期値)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	増減 (26→30)																																				
経常収支比率	100%以上	81.6%	86.6%	87.4%	89.6%	90.7%	+9.1P																																				

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価							評価委員会の検証		
									自己 評価	論 点	検 証 (案)
	比率を100%以上、医業収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。なお、医業収支比率については、平成29年度から適用する。	医業収支比率	100 %以上	—	90.6 %	90.8 %	93.1 %	93.4 %	—		
		職員給与費対医業収益比率	60 %以下	83.3 %	80.9 %	82.9 %	80.6 %	83.4 %	+0.1P		
26	<p><b>1 職員の就労環境の整備</b></p> <p>医療従事者の業務負担を軽減するため、必要な人数の確保に努めるとともに、時間外勤務の縮減等の勤務環境の改善を図る。また、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の導入等次の対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変則2交代制や2交代制等、多様な勤務形態の導入による人員の確保に努め、看護職員の業務負担の軽減を図る。</li> <li>・院内相談窓口の機能を強化する。</li> <li>・ワークライフバランスの向上、労務管理の手引き書作成とその研修実施等、就労環境の整備を行う。</li> <li>・新卒看護職員卒後研修や再就職支援研修を開催し、看護実践能力の習得を支援する。</li> <li>・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催</li> </ul>	<p>平成27年度まで常勤職員のみで行っていた夜間当直受付業務について、段階的に消防職員OBを採用した(平成28年度2名、平成29年度3名)。</p> <p>これにより、常勤職員の夜間当直業務を廃止し、夜間救急外来における当直受付業務に係る常勤職員の負担軽減を図った。</p> <p>ワークライフバランスに関する取り組みの一環として、職員の子どもの対象にした「子ども参観日」を開催し、子どもたちに病院見学や病院の役割の説明等を行った。</p> <p>社会保険労務士を講師に、管理職向けの「ハラスメント研修」を開催し、職員の労務管理やハラスメント防止のための注意点等について講義を受けた。</p> <p>高山労働基準監督署による臨検により是正勧告を受けたため、改善報告を提出し、時間外勤務等の適正化に向け、時間外勤務の事前命令・事後確認の徹底、電子カルテアクセスログ等の適正管理、一部職種へのタイムカードの試験導入、過重労働の縮減対策等に取り組んでいる。</p>	III		時間外勤務等の適正化に向け、過重労働の縮減対策等に取り組むなど努力が伺える。						